



トヨタライン/KIT交流会

【山形】トヨタライン 業に参加を呼び掛けた。東 震のせいにして片付けてい (斎藤和博社長、山形県大 北地方が東日本大震災で被 ののか。しっかりと数字を 石田町) は18日、同社の事 災したこともあり、激励す 残している企業もある。ど 務所で、日貨協連が進める る意味合いも込めて「がん ことが違うのか。情報を交換 求荷求車情報システム、W ばろう日本!」として、研 し、知恵を出し合い、有意 e bKITの交流会を開い 修や情報交換などを行い、 義な交流会にしたい。KI

絆深め業界の未来創造

情報交換、知恵出し合おう

た。前年に続いて2回目の 交流を深めた。翌日は、山 Tで培った絆を深め、業界 開催で、全国から40人の仲 形県特産のサクランボ狩り の未来を創造しよう」とあ 間が出席した。 も行われた。 いた。

「WebKIT交流会in

開会で斎藤和彦常務が

第1部では事例発表が行

りやすく解説した。

大会で表彰されている。

山形」のタイトルで、日頃K

「大震災の影響で経営は厳

われ、福岡ロジテック(福

第2部では「経営戦略」

黒田 秀男)

ITを通して取引のある企

しい。しかし、不景気を地

岡山宇美町)の永山浩二社

長が「市場占有率1位の運

や「配車マンの責任」 「震

露した。

貨協連の2010年度We

中田氏は震災後の経営の

bKIT利用促進キャン

在り方や新しい労務管理、

ンで、車両情報成約件数

情報管理室の役割を説明。

増加率と車両情報登録件数

労務管理では、歩合給から

増加率で全国1位を達成

時間給への転換事例を分か

し、金沢市で開かれた全国

りやすく解説した。

大会で表彰されている。

第2部では「経営戦略」

黒田 秀男)